

2025 年 8 月 29 日

朝日新聞社

〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

つながれば、見えてくる。

朝日新聞社

〈報道関係のみなさま〉

奈良・法隆寺金堂壁画の一般公開に向け、クラウドファンディング

返礼は壁画収蔵庫の限定公開招待。国宝・金堂内部の拝観付きコースも



株式会社朝日新聞社(代表取締役社長 CEO:角田克)は、寺社の文化財保護を支援するクラウドファンディング「A-port みらい」の第 2 弾として、1949 年に焼損した法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂壁画(国重要文化財)の一般公開をめざし、金堂壁画を保管している収蔵庫の改修に向けたプロジェクトを始めました。リターンは収蔵庫限定公開招待です。普段は入れない国宝・金堂内部の拝観付きコースも設けました。募集は 10 月 31 日(金)まで。

◆詳細は「A-port みらい」のサイトへ: <https://a-portmirai.asahi.com/>



(写真は 2024 年の収蔵庫限定公開の様子)

お問い合わせ

朝日新聞社 寺社文化財みらいセンター

E-mail jisha-afortqa@asahi.com

2025 年 8 月 29 日

朝日新聞社

〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

つながれば、見えてくる。

朝日新聞社

■法隆寺金堂壁画とは ―文化財保護の原点―

法隆寺金堂壁画は釈迦如来や薬師如来などを描いた飛鳥時代の壁画ですが、「昭和大修理」といわれる解体修理さなかの 1949 年 1 月 26 日、金堂が火災に遭い、全 12 面が焼損して当初の彩色が失われてしまいました。焼損した壁画は、解体修理のため外されていて罹災を免れた飛天図とともに、境内の収蔵庫に保管され、通常は非公開となっています。

この火災は国内外に大きな衝撃を与え、翌年に文化財保護法が制定される契機となりました。1955 年には火災があった 1 月 26 日が文化財防火デーと定められました。いまでも 1 月 26 日には各地の寺社で消防訓練が行われます。



(左: 金堂火災を報じた朝日新聞紙面 1949 年 1 月 27 日朝刊＝朝日新聞社に無断での転載を禁じます)

(右: 法隆寺境内での放水訓練＝2025 年 1 月)

■皆様にご支援をお願いする理由

壁画の焼損から 70 年以上が過ぎ、「壁画が焼損したことを知らなかった」という方や、「壁画焼損は知っていたが、法隆寺に保管されているとは思わなかった」あるいは「壁画は完全に焼失したと思っていた」という方もおられます。まずは金堂壁画の現状を知っていただくことが重要です。

クラウドファンディングで広く支援を募ることによって、収蔵庫改修に向けた費用を賄うことはもちろん、将来の文化財保護を担う若い方々にも金堂壁画の現状を理解していただき、興味関心を持っていただくことに繋がれば、と考えております。

お問い合わせ

朝日新聞社 寺社文化財みらいセンター

E-mail jisha-aportqa@asahi.com

2025 年 8 月 29 日

朝日新聞社
〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

つながれば、見えてくる。

朝日新聞社

■クラウドファンディング実施概要

1) 目標支援金額

900 万円

2) 支援金の使途

- ・収蔵庫限定公開の開催、公開に伴う収蔵庫内の研究データ取得費用
- ・2025 年度の研究活動費用(壁画の撮影などを予定)
- ・収蔵庫改修に向けた諸費用

3) リターン

- ①収蔵庫内見学
- ②参拝券: 西院伽藍内・大宝蔵院・東院伽藍内共通(有効期限 2026 年 3 月 31 日まで)
- ③金堂内部拝観

※1万2千円の支援は①②、5万円の支援は①②③がリターンになります。

※各枠は先着順で定員に達し次第締め切ります。

※収蔵庫内見学を伴わない支援のみも受け付けます。(1千円から)

4) 収蔵庫見学スケジュール

- ・2025 年 10 月 20 日(月)～10 月 31 日(金)ののべ 11 日間(28 日は休止日)
- ・午前 10 時から午後 4 時の間(午後 0 時 30 分～1 時 30 分は休憩)に、各日 30 分 10 枠
- ・収蔵庫見学後に金堂内部拝観(30 分)を付けた特別コースは各日 12 時から

5) 募集サイト

「A-port みらい」(寺社の文化財保護を支援する朝日新聞社のクラウドファンディングサイトです)

10/20～25 見学:<https://a-portmirai.asahi.com/projects/horyujikondo2025>

10/26～31 見学:<https://a-portmirai.asahi.com/projects/horyujikondo2025-2>

金堂内部拝観付き見学:<https://a-portmirai.asahi.com/projects/horyujikondo2025-p>



(法隆寺金堂)

お問い合わせ

朝日新聞社 寺社文化財みらいセンター
E-mail jisha-aporatqa@asahi.com

2025 年 8 月 29 日

朝日新聞社

〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

つながれば、見えてくる。

朝日新聞社

■法隆寺管長よりご挨拶

当山では、1949(昭和 24)年に火災に遭い焼損した金堂壁画を、焼けた金堂初重の木部とともに収蔵庫を建て大切に保管してまいりました。それらの恒久的な保存と文化財としての活用を検討するべく、法隆寺金堂壁画保存活用委員会を 2015(平成 27)年に立ち上げ、科学的な観点から総合調査を続けております。

委員会より「法隆寺金堂壁画の保存と活用に関する提言」が提出されたのを受けて、2024 年度には収蔵庫改修の基本構想を策定いたしました。みなさまのご支援のおかげで、大野玄妙・前管長の遺志でもある、壁画の現地での一般公開に少しずつ近づいております。

金堂壁画保存活用のためのクラウドファンディングも回を重ねてまいりました。毎回多くの方々から温かいご支援をいただき、厚く感謝申し上げます。

本プロジェクトでは、将来的な一般公開に向けた調査研究の費用を募るとともに、ご支援いただいた皆様にご支援のお礼として収蔵庫内の壁画をご覧いただいております。今回は応援してくださっている皆様への感謝の気持ちも込めまして、特別に金堂の内部で拝観していただけるコースもご用意いたしました。

クラウドファンディングを通して、金堂壁画の歴史について、また今も大切に壁画が守り続けられていることを知っていただき、一人でも多くの方に、文化財保護への興味・関心を持っていただければ幸いです。

どうぞご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。 合掌

法隆寺管長 古谷 正覚

お問い合わせ

朝日新聞社 寺社文化財みらいセンター

E-mail jisha-afortqa@asahi.com